

平成27年度中国高等学校バスケットボール新人大会 勝ち上がり表

期 日：平成28年2月12日(金)～14日(日)

会 場：ジップアリーナ岡山

コート：A, B, C, D (メインアリーナ)

男子の部

	13日(土)	14日(日)	13日(土)
岡山工業 (岡山1位)	81	広島皆実 (広島) 20年ぶり3回目	100
宇部工業 (山口3位)	67		92
松江東 (島根2位)	80		66
倉吉北 (鳥取2位)	60		55
豊浦 (山口1位)	84		57
鳥取東 (鳥取3位)	70		79
倉敷工業 (岡山4位)	63		68
如水館 (広島1位)	103		72
			松江西 (島根1位)
			岡山東商業 (岡山3位)
			呉港 (広島3位)
			柳井 (山口2位)
			岡山学芸館 (岡山2位)
			広島皆実 (広島2位)
			松江高専 (島根3位)
			米子東 (鳥取1位)

女子の部

	13日(土)	14日(日)	13日(土)
就実 (岡山1位)	86	就実 (岡山) 初優勝	60
銀河学院 (広島3位)	32		50
誠英 (山口2位)	85		58
米子東 (鳥取2位)	64		60
広島皆実 (広島1位)	92		75
米子南 (鳥取3位)	47		55
総社 (岡山4位)	28		68
松江商業 (島根1位)	77		62
			慶進 (山口1位)
			明誠学院 (岡山3位)
			出雲北陵 (島根3位)
			広島観音 (広島2位)
			倉敷翠松 (岡山2位)
			明誠 (島根2位)
			宇部商業 (山口3位)
			倉吉北 (鳥取1位)

◆試合時間

2月13日(土) 1.9:00～ 2.10:30～ 3.12:00～ 4.13:30～ 5.15:00～ 6.16:30～
 2月14日(日) 一.9:00～ 二.10:30～ 三.12:00～ 四.13:30～

平成27年度中国高等学校バスケットボール新人大会

期 日：平成28年2月12日(金)～14日(日)

会 場：ジップアリーナ岡山

コート：A, B, C, D (メインアリーナ)

【 男 子 の 部 】

< 1 回 戦 >

○岡山工業 81	17-13 19-14 33-9 12-31	67 宇部工業 ●	○松江東 80	22-20 13-11 19-14 26-15	60 倉吉北 ●
○豊浦 84	19-18 15-19 29-8 21-25	70 鳥取東 ●	●倉敷工業 63	16-26 14-27 18-30 15-20	103 如水館 ○
○松江西 100	36-14 12-7 29-18 23-16	55 岡山東商業 ●	○呉港 55	19-17 14-16 14-13 8-4	50 柳井 ●
●岡山学芸館 57	19-18 13-22 7-26 18-13	79 広島皆実 ○	●松江高専 47	16-15 10-19 5-23 16-15	72 米子東 ○

< 2 回 戦 >

○岡山工業 69	19-13 14-25 23-13 13-8	59 松江東 ●	●豊浦 59	22-21 12-19 17-9 8-21	70 如水館 ○
○松江西 92	15-20 23-18 23-12 31-16	66 呉港 ●	○広島皆実 79	18-25 25-17 19-13 17-13	68 米子東 ●

< 準 決 勝 >

●岡山工業 68	18-23 19-15 18-16 13-17	71 如水館 ○	●松江西 57	14-22 19-12 6-16 18-18	68 広島皆実 ○
----------	----------------------------------	----------	---------	---------------------------------	-----------

< 決 勝 >

●如水館 62	6-19 13-16 14-22 29-23	80 広島皆実 ○
---------	---------------------------------	-----------

【 女 子 の 部 】

< 1 回 戦 >

○ 就 実 86	24-2 22-11 24-4 16-15	32 銀河学院 ●	○ 誠 英 85	22-18 28-10 12-9 23-27	64 米子東 ●
○ 広島皆実 92	26-7 24-18 23-1 19-21	47 米子南 ●	● 総社 28	11-18 8-20 4-24 5-15	77 松江商業 ○
○ 慶進 60	20-8 17-10 10-9 13-12	39 明誠学院 ●	● 出雲北陵 60	14-23 15-16 21-14 10-22	75 広島観音 ○
○ 倉敷翠松 70	11-13 24-10 23-13 12-18	54 明誠 ●	○ 宇部商業 71	15-17 19-17 13-22 24-13	69 倉吉北 ●

< 2 回 戦 >

○ 就 実 91	22-14 20-12 31-6 18-16	48 誠英 ●	○ 広島皆実 62	21-10 17-10 13-12 11-12	44 松江商業 ●
● 慶進 50	17-27 16-2 9-11 8-18	58 広島観音 ○	○ 倉敷翠松 61	16-14 13-7 14-8 18-16	45 宇部商業 ●

< 準 決 勝 >

○ 就 実 100	23-16 21-16 20-22 36-22	76 広島皆実 ●	○ 広島観音 68	17-18 13-14 18-16 20-14	62 倉敷翠松 ●
-----------	----------------------------------	-----------	-----------	----------------------------------	-----------

< 決 勝 >

○ 就 実 75	27-7 12-22 22-20 14-6	55 広島観音 ●
----------	--------------------------------	-----------

平成27年度中国高等学校バスケットボール新人大会													
日時	2016年2月14日		13:30		男子		決勝						
会場名	ジップアリーナ岡山							(B)コート					
● 如水館(広島) 62		$\left. \begin{array}{l} 6 - 19 \\ 13 - 16 \\ 14 - 22 \\ 29 - 23 \end{array} \right\}$					80 広島皆実(広島) ○						
審判名	主 審		皆川 義紀			副 審		望月 公平・市川 雄介					
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
児玉 翔太郎(C)	4	11	1	3	2	2	景山 瑛登	4	6		2	2	1
内田 宏紀	5	5		2	1	4	倉富 チアゴ(C)	5	17		7	3	3
原田 麗音	6	12		4	4	3	天野 優太	6	0				
下瀬 一輝	7	10	1	3	1	3	片山 弘章	7	-				
大島 剣真	8	14	2	4			新井 泰斗	8	-				
奥田 雄伍	9	0				1	池田 隆太郎	9	0				
久保 敦綺	10	5	1	1		1	前土井 優人	10	0				
岡崎 聖大	11	1				1	世良 寿幸	11	-				
清水 拓磨	12	-					原 未来斗	12	10		5		2
横田 拓也	13	-					小川 俊哉	13	20	2	5	4	3
石本 哲也	14	2		1		5	大道 拓将	14	17	1	7		1
角本 優太	15	0					深渡瀬 海	15	10		3	4	3
荒牧 日向	16	2		1		1	山下 征納	16	-				
高田 笙	17	0					江藤 大智	17	-				
荒瀬 駿希	18	0					楠 魁斗	18	-				
合 計		62	5	19	9	20	合 計		80	3	29	13	13

戦 評

ともに準決勝で接戦を制した如水館(広島1位)、広島皆実(広島2位)の同県対決の決勝となった。

1Q 両チームともマンツーマンでスタート。皆実は速攻から⑤がレイアップ、バスケットカウントを決め先制する。直後に皆実⑫がミドルを決めリードを広げるが、如水館⑩が3Pを決め、互角の立ち上がりとなる。皆実はボールを奪うと速いボール運びで主導権を握り、⑬、⑭を中心に得点を重ねる。如水館はメンバーチェンジで流れを変えようとするが、皆実⑭が直後にスティールからレイアップを決め、如水館3-12皆実となり、残り4分でタイムアウト。その後も皆実⑭が3P、⑫がレイアップを決め、さらにリードを広げる。如水館は⑤を起点にゲームを組み立てるが、ミドルが決まらず、残り2分となったところで如水館⑧がゴール下をようやく決め、久々の得点となる。その後も如水館⑥がフリースローをきめるが、如水館6-19皆実と皆実が大きくリードし1Q終了。

2Q 立ち上がり皆実⑬が速攻を決め、対する如水館⑭もミドルを決めて応戦する。お互いにオフェンスリバウンドを取りながらも、決定力に欠け、残り6分で皆実がタイムアウト。直後に皆実は⑬、一方如水館は⑧が速攻を決め、互角に渡り合う。残り4分から皆実が⑭、⑤らの得点でリードを広げようとするが、残り3分から如水館も④がカウントワンスロー、⑥がフリースローを確実に決め、差を9点差まで縮めた。対する皆実も⑬が3P、アシストから⑮がゴール下を決めるなどし、流れを渡さず、如水館19-35皆実で2Q終了。

3Q 両チームとも変わらずマンツーマンディフェンスでスタート。皆実⑮がレイアップを決め、さらにリードを広げる。如水館も粘り強くリバウンドに絡み、⑦のドライブ、⑥のゴール下で差を広げさせない。残り6分、皆実は再びボール運びのスピードを上げ、⑫が連続でレイアップ、⑮、⑭、④らがミドルを成功させ、大きくリードを広げる。如水館は⑥のインサイドを起点に攻めようとするが、決定力に欠け、一方皆実は⑬が終了間際にスピードのあるドリブルから得点し、如水館33-57皆実とリードを広げ3Q終了。

4Q 如水館⑥のインサイドが決まり、リバウンドからの速攻で④が連続得点し、反撃開始する。皆実も⑤、⑬らが得点するものの、如水館の勢いは止まらず、残り6分で皆実がタイムアウトをとるが、さらに如水館⑧が3Pを決め、12点差となる。しかし、如水館のチームファウルが重なり、皆実は得たフリースローを⑮、⑤らが確実に決め、再度点差を広げる。残り3分から如水館は④、⑧が3Pを決めて粘るが、皆実が主導権を渡さず、如水館62-80皆実で、県大会の雪辱をするとともに、20年ぶり3回目の優勝を果たした。

平成27年度中国高等学校バスケットボール新人大会

日時	2016年2月14日	12:00	女子	決勝
会場名	ジップアリーナ岡山			(B)コート

○ 就 実(岡山)	75	$\left\{ \begin{array}{l} 27 - 7 \\ 12 - 22 \\ 22 - 20 \\ 14 - 6 \end{array} \right\}$	55 広島観音(広島)	●
-----------	----	--	-------------	---

審判名	主 審	橋本 恵一	副 審	田中 真・蓑原 菜津子
-----	-----	-------	-----	-------------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
塩見 あずさ(C)	4	19		7	5	4	飯山 佳奈(C)	4	8		2	4	
田村 幸子	5	-					谷岡 優里	5	-				
米田 遥菜	6	-					岡 桃華	6	0				
青木 翔菜琳	7	22		11		3	福田 若葉	7	-				
岡田 七海	8	0				2	立石 琴乃	8	2		1		
池下 侑	9	-					林原 菜々実	9	13	1	4	2	4
青木 南々華	10	-					金子 なごみ	10	-				
那須 愛加	11	4		2		2	小田 侑加	11	24	3	5	5	2
森 夕佳	12	18		7	4	2	橋村 実咲希	12	0				2
平尾 美玖	13	12	4			1	脇田 珠音	13	0				1
吉長 夏生	14	-					常川 紗希	14	0				
							八城 実莉	15	8		4		
							横尾 菜緒	16	-				
							野田 侑里	17	-				
							藤井 涼葉	18	-				
合 計		75	4	27	9	14	合 計		55	4	16	11	9

戦 評

両チームマンツーマンディフェンスで試合開始。ゲーム開始3分で11-2と就実がペースを掴む。観音は⑨のインサイドへの飛び込みを起点にして食らいつくものの、高さもある就実をなかなか攻め崩せず得点ができない。一方就実⑬の3Pや④のポストプレーなどでじわじわと得点を重ねる。1Q最後に観音④がドライブで就実のファウルを誘い、FTを2本とも決めるものの、すかさず就実⑪がドライブから取り返し、25-7と就実の大幅リードで1Q終了。

2Q立ち上がりで観音⑪がミドルシュートを決めると、観音はディフェンスでも粘りを見せ、就実の連続ミスを誘う。勢いがついた観音は④のドライブや、⑨のバスケットカウントなどでゲームの流れを奪い返し、2Q開始4分で28-18と差を大きく縮める。就実④の裏へのパスを得点に繋げて再び流れを引き戻そうとするが、観音も⑨の3Pなどで、残り3分で30-23と7点差までに詰め寄る。就実が⑦や⑫の得点でリズムを取り返し、39-26と差を広げるが、観音⑪がブザービーターとなる3Pを決め、39-29と観音が点差を10点に縮める形で2Qを終えた。

3Q序盤は一進一退の攻防を繰り返す。残り7分、就実⑬が3Pを決めて46-33とすると、直後に観音も⑪の3Pで食らいつく。その後観音が⑮の速攻、連続となる⑪の3Pで波に乗り、残り5分には46-41と5点差にまで迫る。しかし就実も再び⑬の3Pや⑫のインサイドプレーなどで引き離し、残り2分には56-45とリードを広げる。就実のペースとなり得点も止まってしまった観音はタイムアウトを取るがリズムは取り返せず、61-49と就実がリードを広げて3Qを終える。

4Q、就実⑫がゴール下の苦しいシュートをねじ込むなどして得点を重ねていく一方、観音は就実のディフェンスを前にして得点ができない。残り4分になり観音が⑮のシュートでようやく得点をしたときには、69-51と就実が大幅リード。その後も観音は就実を攻め崩すことはできず、75-55と就実が優勝を勝ち取った。